

2010年2月3日

【研究概要】

今日、中国の存在感が急速に高まっており、国際社会の様々な分野における中国の振舞いは、世界の動向に大きな影響を与えることが広く認識されるようになった。しかも、中国が大国化していく中で、その外交は多元化し、実に多様な展開を見せるようになっていく。今日の中国の外交と今後の行方を理解するためには、多様な角度からの分析が必要である。

しかしながら、そもそも一国の外交に関する研究は、対外経済関係は例外として、ほとんどが、その国と他の国を中心になされておられ、国際機関との関係についての分析はある程度なされてはいるものの、その国の外交を分野別に研究する試みはまだほとんどない。特に、中国の外交に関してはこの傾向が著しい。

そこで、中国の外交を問題領域毎に分析することを目的として、本研究会は発足した。本研究会は、中国問題だけではなく、安全保障や社会、経済政策などの分野にも造詣の深い専門家・有識者による研究体制の構築を図ってきており、今後とも強化していく。また、中国の外交や国際社会における立場には中国国内の制約要因が大きく影響を及ぼしているため、国際政治の視点に加えて、中国国内の政策決定過程にも考慮しながら多角的で総合的な調査研究を行っていく。

【今後の予定】

本研究会は、2009年12月に発足し、研究会を2回開催した。2009年度中にさらにもう1回研究会を実施する予定である。2010年度には、2009年度の研究成果を踏まえ、各委員による研究をより深めるべく、研究会を随時開催する予定である。そして、2010年度末には報告書を取りまとめるとともに、最終的な研究成果をより広く一般に公表する方途を追求していきたいと考えている。

【研究会メンバー】

主査：

高木 誠一郎 日本国際問題研究所客員研究員・青山学院大学教授

委員：

中居 良文 学習院大学教授

浅野 亮 同志社大学教授

大橋 英夫 専修大学教授

毛利 亜樹 海洋政策財団研究員

委員兼幹事：

渡辺 紫乃 日本国際問題研究所研究員